



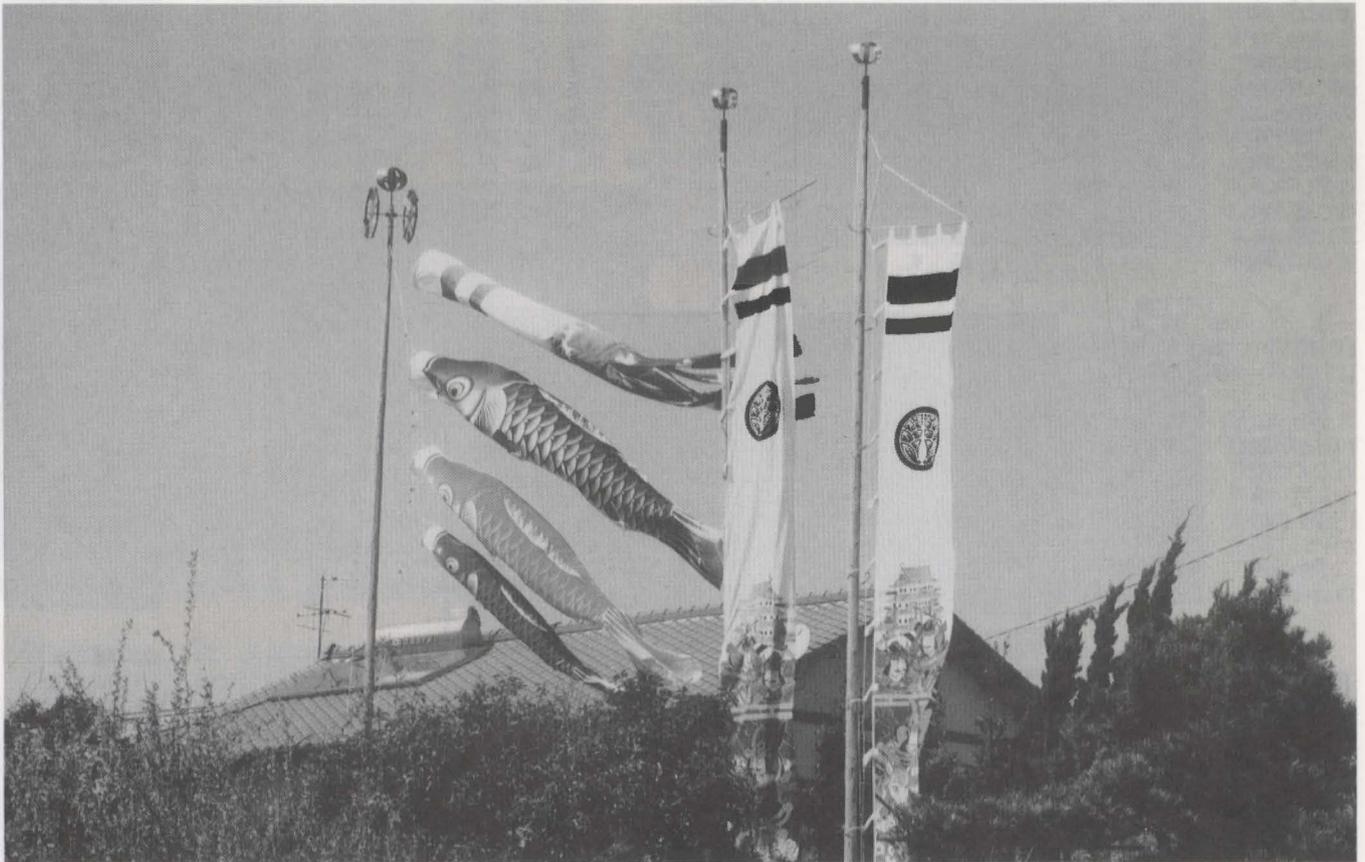
議会だより

第十六号

平成8年5月10日

発行／岡垣町議会 編集／議会広報委員会

〒811-42福岡県遠賀郡岡垣町大字野間697-1 TEL(093)282-1211 FAX(093)283-3027



五月晴れの青空を勇壮におよぐ鯉のぼり



早期米コシヒカリの田植えに追われる東黒山の一日

もくじ

定例会と臨時会の概要… 2～5

一般質問…………… 5～8

委員会だより…………… 9

議会ひろばほか……………10

平成8年第一回定例会

平成8年第一回定例会は、3月6日から26日まで開催されました。

町長からは、平成8年度一般会計予算など二十六議案の提出と一件の報告があり、議員からは、地方分権の推進に関する意見書など三議案が提案され、可決二十八件、同意一件という結果になりました。



教育委員会委員の任命について (同意)

松丸委員さんの辞任により、新たに東松原区の末永幸子さんが就任されました。平成10年12月まで、教育行政の向上を目指して努力していただきます。

附属機関の設置に関する条例の一部を改正する条例

(賛成多数可決)

町の附属機関である「構造政策推進会議」の名称を、「農業構造政策推進会議」と改め、担任する事務の改正がされました。

職員の勤務時間及び休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例 (可決)

一般職の職員の勤務時間、休暇等に関する法律の施行にともない、休日の代休制度及び介護休暇制度が新設されました。

一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例 (可決)

週休日の振替制度に新たに時間外勤務手当が支給されるようになりました。

単純な労務に雇用される職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例

る条例

一般職の職員の給与と、学校給食調理員など現業職に雇用される職員との給与較差の調整がされました。

(可決)

国、県の指導により、12月31日から1月3日までの間に勤務する浄水場の職員に支給している特別勤務手当が廃止されました。

(可決)

水道事業企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例



毎日通勤者等の利用で150台がいっぱいになる町営駐車場

町営駐車場設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例 (賛成多数可決)

駐車料金が6月1日から一回につき百五十円が二百

円に改定されます。

岡垣パーキング休憩施設の設置及び管理に関する条例の制定について (可決)

道路利用者に休憩及び町



観光や特産物の案内施設として期待され建設が進む岡垣パーキング施設

の観光情報等を提供する施設として、岡垣バイパス沿いに「岡垣パーキング休憩施設」が設置されますが、これに伴う管理運営等の条例の制定です。

(可決)

都市公園条例の一部を改正する条例 (可決)

岡垣サンリーアイの近くに、新たに「けやき公園」が設置されたので、都市公園条例に追加されました。

(可決)

国民健康保険税条例の一部を改正する条例 (可決)

平成8年4月1日から国保税の納期が、五期から十期に改められ納付しやすくなりました。

(可決)

特別会計条例の一部を改正する条例 (可決)

一般会計補正予算(第7号) (可決)

平成7年度の最終段階の補正です。

今回は歳入歳出それぞれ二千六百二十六万円を減額し、予算総額は八十二億七千二百六十九万二千円となりました。

国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)

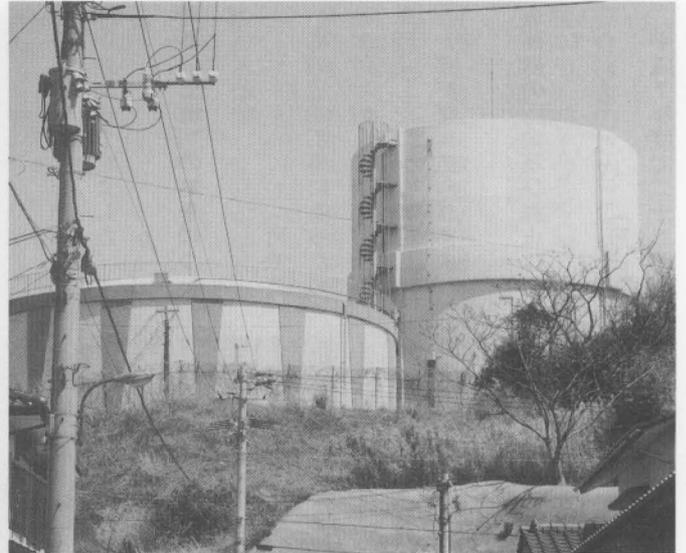
(可決)

入院による高額な医療費を受けられる方がなくなつたため、療養給付費及び高額療養費の伸びが当初見込みより低く抑えられたことにより、歳入歳出それぞれ九千五百八十三万五千円の減額となり、予算総額は十九億五千二百三十六万四千円となりました。

老人保健事業特別会計補正予算(第3号)

(可決)

8月診療分より入院による高額な医療費を受けられる方が増えたことなどにより、歳入歳出それぞれ二億三千五百二十四円を増額し、予算総額は二十九億五千一百四十一万五千円とな



海老津台団地の高台にある町水道の配水地です。毎日八千トンの上水道を各家庭に配水しています。

りました。

水道事業会計補正予算(第2号)

(可決)

使用料の減収などで収益的収入を一千五百九万六千円減額、配水管漏水修理費の減額などで収益的支出を七百二十万八千円減額、資本的収入は三百一十五千円が減額、資本的支出は六百七十四万円が減額されました。

一般会計予算

(賛成多数可決)

平成8年度の町の事業全体を表したものです。穏やかな景気回復基調にあるものの足踏み状態であり、税収の伸び悩みなどの財政事情の中で、前年度を五パーセント上回る八十三億一千九百万円が計上されました。地域に密着した保健福祉活動の拠点施設である「おかがき福祉の里」建設をはじめとして、総合体育館の基本設計、生活道路の整備、自転車道路の整備、小学校の大規模改造工事、合併浄

国民健康保険事業特別会計予算

(可決)

化槽の設置補助並びに、高度情報化社会に対応した地域情報化推進計画の策定、観光についての基本的な方向を定めた基本構想の策定、ひとつくり講座の開設などが計画され、「かけがえのないふるさとになるまちづくり」を進めるための事業に重点が置かれた予算となっています。

平成8年度の国民健康保険事業全体を表したものです。前年度を一・七パーセント上回る二十億八千三百七十四万二千円が計上されています。保険給付費は保険活動などにより低く抑えられる見込みです。

老人保健事業特別会計予算

(可決)

平成8年度の老人保健事業全体を表したものです。新規に老人保健受給者になられる方が四百人ほど見込まれますので、前年度を十七・五パーセント上回る三十一億八千六十二万一千円が計上されています。

住宅新築資金等貸付事業特別会計予算

(可決)

平成8年度の住宅新築資金貸付見込みは今のところ無く、回収金と公債費の償還金がほとんどです。予算は、四百六十一万九千円が計上されています。

公共下水道事業特別会計予算

(可決)

平成8年度の公共下水道事業は、十二億七千二百三十三万円が計上され、吉木第六汚染幹線、野間一区、三区及び吉木区の一部の面整備が予定されています。



町内めぐりサイクリングコースとして整備が進む自転車道(吉木什王堂付近)

農業集落排水事業特別会計
予算

(可決)

岡垣西部地域の農村集落で混住化が進み、生活雑排水などの影響で農業用水が汚濁し農作物に被害が及んでいます。早急な下水処理対策が必要となり、平成8年度に農業集落排水事業の採択が行われますので、これに伴う予算編成をします。

本年度は、実施設計費などで八千二百四万円が計上されています。

水道事業会計予算

(可決)

平成8年度の水道事業全体を表したものです。

給水戸数九千三百戸、日量七千三百トンの給水をを行う予定です。

収益的収入は四億四千七百三十五万三千円、支出は四億三千一百三十五万一千円。

資本的収入及び支出は、新規事業として配水池の設計委託費、水源開発費などで、収入は一億六百七十万

円、支出は二億四千三十九万九千円が計上されています。

土地改良事業の施行について

(可決)

戸切の下持田下ため池が老朽化し非常に危険状態にあるため、施設全体の改修工事が行われます。

旧慣による公有財産の用途廃止について

(可決)

銭高組(株)の宅地造成工事による二又ため池の付け替えのため、ため池が一部用途廃止されました。

財産(土地)の処分について

(可決)

宅地造成工事によるため池の付け替えに伴い、公用地を廃止した二又ため池用地の一部が売り払われます。

道路線の認定及び廃止について

(可決)

平成7年度で二十二路線

を町道認定し、十一路線が廃止されました。

専決処分の報告について

(都市計画公園、けやき公園整備工事請負契約の変更)

(報告)

けやき公園内の修景施設が、更に充実したものに整備されます。

NTTの在り方に関する意見書

(可決)

国民・利用者にとって必要な電気通信の維持・発展は、公的な一元管理・運営によってのみ実現するものであり、その基本的立場からNTTの経営形態の在り方として分離・分割に反対する



近隣住民の憩いの場として完成したサンリーアイ横の《けやき公園》

地方分権の推進に関する意見書

(可決)

地方分権推進計画の具体的な作業が進められています。地方公共団体の意見を集約した地方六団体の意

る意見書を提出しました。

国民の願いに応える公的介護保障を充実させるために、介護保険構想の再検討を求めめる意見書

(可決)

公的介護保障・高齢者福祉を充実し、国庫負担による介護手当制度の創設などを強く要望する意見書を提出しました。

国民の願いに応える公的介護保障の充実を求める請願書

(採択)

WTO協定の改定を求めるなど政府関係省庁に意見書の採択送付をお願いする請願

(継続審査)

三里松原と海岸線の保全・保護を求める請願書

(継続審査)

請願・陳情

本定例会に提出された請願は一件、陳情は二件、継続審査となっていた請願二件、陳情一件を合わせて合計六件の審議を行い、請願は採択一件、継続審査二件であり、陳情は採択二件、継続審査一件という結果になりました。

「おかがき福祉の里」周辺環境整備に関する陳情書

(採択)

NTTの分離・分割に反対し公共性を求める陳情書

(採択)

山田峠ゲートボール場用地取得に関する陳情について

(継続審査)

採択となった請願や陳情に伴う意見書は、すべて可決され、内閣総理大臣をはじめ関係機関に送付しました。

介護保険構想を白紙に戻し、

臨時会

平成8年第一回臨時会が1月17日から18日まで2日間開催され、町長から職員

の給与条例改正など七議案の提出があり、すべて可決されました。

一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

(可決)

単純な労務に雇用される職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例

(可決)

二件とも職員給与の改定で、国の人事院勧告に準じ一〇パーセント引き上げられました。

一般会計補正予算(第6号)

(可決)

給与改定などの歳出増で歳入歳出それぞれ一千八百八万四千円の増額となり、予算総額は八十二億九千八百九十五万二千円となりました。

国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)

(可決)

人事院勧告に伴う人件費

の増額で、歳入歳出ともに五十三万二千円の増額となり、予算総額は二十億四千八百九十九万九千円となりました。

老人保健事業特別会計補正予算(第2号)

(可決)

歳入歳出ともに二万七千円が増額されました。

公共下水道事業特別会計補正予算(第3号)

(可決)

消費税額の確定などにより、歳入歳出ともに九十七万円が減額されました。

水道事業会計補正予算(第1号)

(可決)

資本的支出が二百六十一万円増額されました。

平成8年第二回臨時会は2月14日に開催され、町長から遠賀・中間地域広域行政事務組合規約の変更など三議案の提出があり、議員からは、住専処理に税金を使うことに反対する意見書

が提案され、可決三件、否決一件という結果になりました。

遠賀・中間地域広域行政事務組合規約の変更について

(可決)

平成8年4月1日から、ごみに関する事務に中間市を加え、共同処理するようになりました。

地域福祉センター新築工事請負契約について

(可決)

ふれあい館新築工事請負契約について

(可決)

二件ともおかがき福祉の里に、コンクリート造り2階建ての地域福祉センターと、平屋建てのふれあい館が建設されます。

住専処理に税金を使うことに反対する意見書

(賛成少数否決)

どういふ状況下でも国民の血税を使わないという内容であったため、否決となりました。

一般質問

竹内 和男 議員



町の大型工事等による財政の見通しはどうか。

質問 昨年の10月〜12月期のGDP(国内総生産)が、前期(7月〜9月)比〇・九%、年率換算三・六%の高い伸びがあり、景気に明るさが戻りつつある。しかし、産業空洞化による構造変化等があり、力強い景気の回復が望めない。租税としての財源確保の低下が長期的に起こりうる状況であるが、財政の見通しについてたずねる。

一般財源の大きな伸びは期待出来ない。

答弁 今後の五年間に、福

徹底した財政管理を行い、民活を取り入れ、税収増に努力したい。

金利が低い今、公共投資を増やしてはどうか。

社(里)、公共下水道、農業集落排水、総合ふれあい公園第二期、海老津小・山田小の大規模改造、都市計画道路整備、町営住宅の建て替えなどがある一方、低成長により、税収の大きな伸びは期待できず、地方債の償還金等の行政諸経費が増加しており、事業の調整と

質問 公債比率の問題もあるが低金利の今こそ、町民が一年でも早く願っている公共下水道等の事業を早めるべきだがどうか。

答弁 前向きに、財政状況を見ながら取り組めるか検討する。



財政計画に基づき進められている下水道工事

矢島 恵子 議員



生涯教育の現状を問う。

質問 生涯学習を支援し援助する教育活動を生涯教育と言われているが、岡垣町の生涯教育方針と現状をたずねる。

生涯学習の原点は家庭であり、地域であると考えている。

答弁 現在町内の七校に於いて家庭教育学習を開設、家庭教育講演会は幼稚園も含め全校で行っている。

質問 就労者にも学習の場を考えてほしい。

答弁 職場や時間帯も考慮し、学習の機会が増えるように努力し家庭教育の振興に努めたい。

質問 男女共生社会に向けて、女性のリーダー育成を目的とする講座が必要と思



集中力の養成など、基礎的な学習指導が行われている東部保育所

質問 女性学習の講座の中で考えていきたい。

質問 小学校の入学時に幼稚園児と保育園児との間に学力差があると聞くが学校での学習に影響はないか。

また、就学以前に園側と十分連携が取れているのか。

答弁 幼稚園と保育園は、保育内容が全く異なるので、入学の前後に基本的なこと

については、打ち合わせをしている。

入学当時は幾分学力差は認められますが、一学期中にはほとんど解消する。子供達の学習に対する興味、感心度から考えると余り事前指導がないほうが良いと思う。

質問 特色のある学校づくりについてたずねる。

答弁 「心の豊かさを育む人づくり」を念頭において、各学校の地域の実態や、文化、伝統を生かし他校と異なる学校運営を目指す。

曾宮 良寿 議員



高齢者地域相互支援体制は

質問 地域の特性に根ざした高齢者福祉のソフト化を進める上で、独居老人世帯・高齢者世帯を支援する地域団体・組織等を育て、行政として応援指導する仕組みを考えてゆくべきと思うが。

必要不可欠と考える

答弁 行政だけでなく、地域の協力、ボランティア等住民組織によるものが大切と思う。

現在、社会福祉協議会等を通じて事務費的な支援にとどまっているが、モデル事業等の成果を踏まえて、今後考えていきたい。



道徳教育の時間に豊かな心を育てる体験学習が行われている戸切小学校

公教育の中で福祉についての学習は。

質問 今の岡垣っ子が当町の将来の福祉を担ってゆくわけだが、現在の町教育行政の中でそれはどのような形でされているのか。

豊かな心づくりを基本に行っている。

答弁 道徳教育の時間を大事にしたい。

その中で、体験学習・ボランティア活動等を通じて「豊かな心」「感動する・感謝する・思いやり助け合い」の心を育てて行きたい。戸切小、海老津小の研究発表授業はその考えに添ったものである。

具体的には福祉振興基金等の予算を充てているところで、これからもさらに進めて行きたい。

平山 弘 議員



町営住宅の建設計画はあるのか。

質問 住宅は人間らしく生活する上で欠かせない。諸条件の中で公営住宅を希望する町民がいる。

公営住宅を供給するのは憲法や地方自治法上から、国や地方自治体の責務であると思うが。

町営住宅の増設を考えている。

答弁 狭小で老朽化している町営住宅の建て替え計画を、海老津駅近辺の新規団地建設予定地に考えている。

平成11年に基本計画を立て、平成12～13年に一期工事二十四戸、平成13～14年に二期工事二十四戸を計画している。

要介護者のために「福祉ネットワークシステム」の確立を求める。

質問 老人保健福祉計画が策定され二年を経過し、「地域福祉センター」の建設が進んでおり、町民が充実した福祉サービスを受けられる体制づくりが必要と思うが。

「福祉ネットワーク化」の取組みを検討する。

答弁 そのために「要介護者の情報収集と住民相互の支援機関制度」の設置と、「サービス情報の提供と、情報交換による各施設の連携」が必要と考えている。要介護者と家族のために「岡垣町高齢者サービス調整チーム」が、十分機能を果たすように努力する。



要介護老人をかかえる家族の相談が絶え間ない介護支援センター

久保田 秀昭 議員



中学校に完全給食の実施を。

質問 「育ち盛りの子供たちには、おいしくて安全で栄養価のある給食を」と、各地の中学校で完全給食が実施されている。

お弁当はどうしても栄養が片寄ってしまうし、冬は暖房のない教室で冷たい弁当を、夏場は腐敗の心配がある。

心身ともに育ち盛りの中学生にとって、学校給食は食生活を通して日常のマナーや社交性を学び、栄養と健康、食料と農業を学ぶ良い機会である。

とりわけ、いじめ、体罰が深刻な問題になっている現在、中学校給食は教師と生徒間のふれあいを深めるためにも、大きな効果が期待されている。



児童に栄養バランスの取れた給食を毎日作られている小学校給食の調理員

待てます。

阪神大震災では、学校調理室を使つての炊き出しが被災者に掛けがえのない役割を果たし、自校方式の学校給食が改めて評価されている。

中学校に町直営自校方式での完全給食実施を求める。

強い要望があれば考えていきたい。

答弁 保護者・生徒の強い要望が持ち上げられれば大きな政治的課題として、今後位置づけたい。

しかし、給食施設整備費、管理費等で多額の財政支出を伴うので、長期的な財政事情の見通しを十分勘案して判断したい。

中学校の完全給食実施率は、全国で七二・四％、福岡で五〇・一％である。

質問 学校給食は学校教育の一環であり、「学校給食及び衣服に関する各国文部省に対する勧告第三十三号」を尊重すべきと思うが。

答弁 前向きに考えなくてはいけないと思う。

細川 光利 議員



社会福祉協議会、サンリーアイ公社職員の拡充強化を求める。

質問 第三次マスタープランが目指すまちづくり、人づくり推進計画と、社会福祉協議会、サンリーアイ公社の各事業の位置づけについて答弁を求める。

答弁 高齢化対策や社会福祉の充実のため社会福祉協議会と連携を取っている。

サンリーアイ公社では質の高い文化に出会う機会を提供するため、事業・企画運営をお願いしている。

出向職員の役割についてだすねる。

質問 本年度完成する福祉の里は、社会福祉協議会に管理・運営を委託すること

になっている。

サンリーアイは開館して三年が経過している。

両施設は、住民福祉また文化の拠点施設であると同時に、人づくりの重要な施設である。

行政から出向させている職員の任務と役割はどうなっているのか。

町財政との調整を図らせている。

答弁 サンリーアイには四名出向させている。

町財政等の調整を十分に図らせているのが現状である。

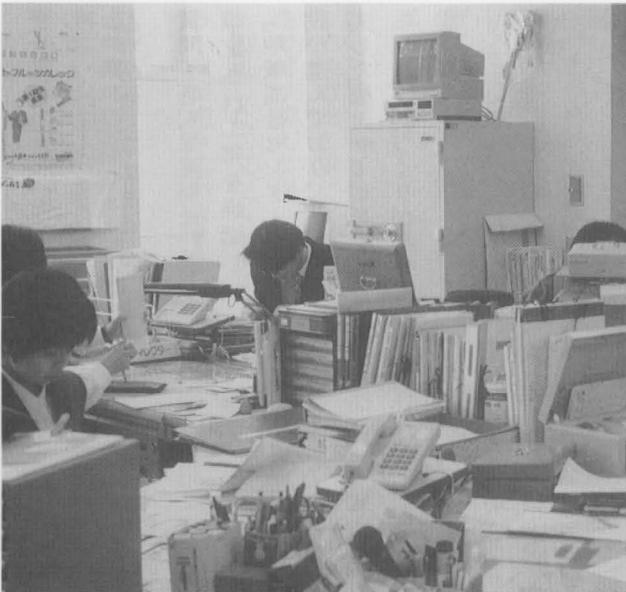
る。

社会福祉協議会には一名出向しているが、平成8年度は係長職を一名出向させる。

社協サンリーアイの正規職員を増やすべきだと思ふが

質問 両法人組織とも正規職員が少なく臨時職員が多い。これでは目的を達成することが出来ない。

答弁 独自で管理運営ができる体制づくりのための協議をしていく。



いろいろなイベントの企画に追われる岡垣サンリーアイの事務室

竹井 信正 議員



福祉オンブスマン制度の導入は出来ないか。

質問 心身にハンディキャップのある高齢者等は、人権侵害や不適切なサービス等を受けている。

自らの意見を外部に表明できない方々を手助けするために、公的・私的権利救済システムの導入は出来ないか。

制度の調査を行う。

答弁 人権の保障・利益の擁護・救援活動を行う制度だけに、町民の立場に立つて十分な調査を行いたい。

質問 行政の相談窓口で、高齢者福祉サービス等の苦情処理機能はないのか。

答弁 制度として、心配ごと・在宅介護・貸付・人権行政相談等がある。

その他の福祉相談は職員が対応している。

質問 東京都中野区などはすでに制度を取り入れ高齢者に暖かい手をさしのべているが、岡垣町も早急に調査し対応して欲しい。

歴史資料館の整備を。

質問 埋蔵文化財の保護、保存の現状をたずねる。

答弁 埋蔵文化財の保存は、中央公民館に古文書と陶芸所横のプレハブに民具、役場裏埋蔵分室に考古資料を

保管している。

質問 文化財は、岡垣町文化財保護条例や、国の文化財保護企画特別委員会等で、財保護企画特別委員会等で、良好な環境で保存しなければならぬようになっており、本格的な保護保存施設を整備すべきではないか。

最大の努力をしていきたい。

答弁 埋蔵文化財等の貴重さは承知しており、財政状況をしながら最大の努力をしていきたい。



福祉の相談業務の一つである法律相談の様子

委員会だより

おかがき福祉の里建設 特別委員会

福祉の里オープン（H9年4月）に向けて建設着工
福祉センター、ふれあい館の建設に着手いたしました。

両建設工事費は十四億五千二百三十万です。
この施設が完成しますと、

地域福祉の拠点施設として大きな役割を果たす事になります。また人と人のふれ



完成したゲートボール場(上)と建設が進む福祉センターとふれあい館(下)



あいの施設として豊かな心を育み、支え合い助け合いが大きく促進できます。

行政視察報告

委員会は、福祉の里の運営内容の充実によって行政目的を達成させるために、平成8年2月7日宮崎県門川町の「総合福祉センター」、8日は鹿児島県隼人町の「総合福祉センター松恵苑」の視察研修を行いました。

両施設とも平成5年4月にオープンされた先進地です。
門川町の施設は各地域に福祉推進委員（三〇〇名）を組織して、拠点施設と行

政・医療機関・福祉施設の福祉ネットワークシステムを確立しています。

隼人町の施設は年間無休毎日二食の給食サービスを行っていることで全国的に有名です。

両町の施設とも社会福祉協議会の体制が確立され、個性を持った運営がなされています。



隼人町の施設で遊びを通して機能訓練をしている様子

駅周辺再開発に関する調査特別委員会

行政視察報告

去る1月31日から大分県日田市と、翌日は宮崎県新富町を視察した。

日田市は木工・林業・観光のまちとして知られている。

自然発生的にできた商店街・駅前広場・街路は、狭隘で無計画・無秩序に形成されていたため、昭和45年に都市計画の一環として駅前地区の区画整理事業が計画決定され、合わせて商店街を整備し近代化を図り、市の中心となる商店街を目指すこととなった。

日田市の顔づくり事業として、官公庁の集積や、核となる商店街づくりが発想の前提として、昭和49年から中央商店街と、駅前商店街が順次整備された。

駅前広場・シンボル道路の拡幅（25m）・グリーンモール化（木陰のある遊歩道）、買い物公園的まちづくりなどが整備され、地域

一番店の出店もあり売上也延びているということである。

新富町は、基地のまち、野菜、洋蘭づくりが盛んな町であり、基地と町の共存共栄ということで取組まれている。

旧国道10号線に張り付いていた商店主約30名の方が何回となく相談され、区画整理事業に合わせて、町の中心的な商業集積地となるよう意見書が出された。
昭和56年から事業に取り

組まれ、防衛庁官舎と町営住宅のあった一角に商店街が整備され、駐車場は商店会に貸与している。

整備された「るぴーモール虹ヶ丘商店街」は、売上率も好調に推移して三十%近く売上が延びて商店街近代化事業の効果は上がっているということである。

今回の視察で感じた事は、地元の熱意と行政がタイアップしておこなうことが必要だということである。



整備された新富町の商店街

議会ひろば

委員会対抗ゴルフ大会 ゴルフ大会開催される

4月18日午後2時より総合グラウンドにおいて、議員の健康増進と親睦を兼ねて三常任委員会対抗ゴルフ大会が開催され、総務常任委員会が大方の予想を覆して優勝しました。

今回は一昨年に続いて二回目で、前回優勝した経済建設常任委員会は、健闘もむなしく三位に終わりました。



優勝杯を手に堂々とした総務常任委員会

で熱戦が展開され、新人議員の活躍に先輩議員が刺激されるなど、終始和やかな雰囲気の中で一日を終えました。

広報委員会 行政視察報告

広報委員会は、町民の皆様に関心され愛される議会だよりづくりを日夜奮闘しておりますが、その一環として、去る3月29日浮羽郡吉井町議会広報委員会の視察を行いました。

吉井町は、昭和五十六年四月に議会広報を初刊行されており、非常に実績のあるところとす。

発行部数は四千五百部で毎定例会ごと年四回発行してあります。特に目だったのは、諸願・陳情の内容が詳しく説明してあること、表紙にキャッチフレーズが載せてあることです。

良いものはどしどし取り入れて、読み易く、わかりやすい議会だよりづくりに努めていきたいと思っております。



吉井町の広報委員会と熱心に研修する本町の広報委員会(写真右)

編集後記

最近、環境問題をよく耳にします。

科学技術の進歩や人口の急増等により、「破壊が進む自然環境」「あふれるごみや産業廃棄物」「農地の荒廃」「食糧とエネルギーの偏在」「大気汚染」など地球規模で環境破壊が進み、環境保全が叫ばれています。今私達は何をなすべきで、何が出来るのでしょうか。行動の指針となる情報や、考える素材を提供し自然をよく知ることが環境問題の基本だと思えます。

常に地球規模で考え、自分を育んでくれる地球のことをもっと知り、見つめられる感性を持つことからこの問題を考えていきたいと思えます。《中村 信光》

議会広報委員会

- 委員長 勢屋 康一
- 委員 大森 忠勝
- 委員 竹井 信正
- 委員 中村 信光
- 委員 竹内 和男

シリーズ

用語解説

【住 専】

住専とは、都市銀行や長銀など金融機関の共同出資により、個人向け住宅ローン専門会社として発足した「住宅金融専門会社」の略称です。

この住専設立の背景は、住宅金融公庫融資の補完ということもあるが、当時銀行は、手間がかかり利益の薄い個人向け住宅

ローンを、別会社をつくって処理させることが主眼であったといわれています。その後経済情勢の変化により、銀行が個人の住宅ローンを扱うようになったため、行き場を失った住専が不動産融資をおこなうようになり、更にパブル景気に乗り

狂気ともいえる乱脈融資へと走り、十三兆二千億円という膨大な不良債権をかかえ崩壊しました。そこで政府は、①金融不安を起こし大変なことにな

る。②回復傾向にある経済に水を指し、又景気が悪くなる可能性がある。③国際的信用を失う。などを理由に税金を使ってでも早急に解決した方が良くと考え、平成8年度予算に六千八百五十万円を計上しました。

国民の大多数は、民間会社の不始末に税金を使うべきではないと考えています。国会の場でも、この問題で与野党が激突し「住専国会」とまでいわれ、野党による二十二日間にわたる座

り込みが行われました。最終的に住専関係予算については、予算書に「制度を整理した上で措置する。」という事項を入れ、関係法案の整理やこの件を集中審議する特別委員会の設置を条件に話し合いがつき、審議が再開されました。すなわち「保留」という玉虫色の決着がついた訳です。

国民の大多数がノーと言っているのに、政府与党が考え方を変えない背景には、前述のように金融不安、景

気、国際信用等がありま